

### 8 水道記念館と水の広場



水道記念館は、県営水道50周年を迎えた昭和59年、県営水道発祥の記念施設である旧ポンプ場を活用して建てられました。水の広場には相模川から相模湾へ注ぐ様子を模したせせらぎが流れ、その周囲には県営水道の給水区域の22市町の木が植栽されています。平成15年にリニューアルされた水道記念館とあわせて、多くの人たちに親しまれています。

### 10 一之宮公園



寒川町の公園の中で三番目に大きな公園です。寒川町で初めて管理棟を設けた本格的な公園でもあります。自由広場ゾーン、子どもの遊び場ゾーンなど5ブロックからできており、幼児からお年寄りまで楽しめる公園として人気があります。

### 11 梶原景時館址



### 12 車地藏堂



この地藏堂は、小田原城主大森実朝の孫菊地泰次が慶長2年(1597)に建立し、安産子育て地藏を祭ったと伝えられています。車に乗った地藏をお祈りする人には自分の子や孫の時代に幸せが車に乗ってやってくるという「三界ハ輪廻ノ如シ」という仏教の教えに従ったものです。霊験あらかたな子育て地藏として江戸時代には講を組織し、参詣する人も多かったそうです。

### 7 さむかわ中央公園と寒川総合体育館



約48,000平方メートルの広大な公園は町民の憩いの場となっている他、大規模な催しやお祭りなども行われます。併設する総合体育館はメインアリーナ棟と様々な体育施設を備えるサブアリーナ棟とからなり、年齢性別を問わず様々な人たちに利用されています。

### 9 一之宮緑道と八角広場



一之宮緑道は、昭和59年に廃止された旧国鉄相模線支線の跡地を利用してつくられた緑豊かな緑道です。この先の同支線「西寒川駅」があった場所には、八角形の形をした八角広場があり、子どもたちの格好の遊び場となっています。

梶原景時は治承4年(1180)、石橋山の合戦で源頼朝の一命を救ったことから頼朝の側近として活躍し、鎌倉幕府の土台を築くのに貢献しました。この地に館を構えた時期は不明ですが、強固な城構えであったことを窺わせる記録があります。館址の範囲や規模は明らかになっていませんが、天満宮付近がその中心と考えられています。



### 6 寒川神社



平安時代の文献にしばしば登場する古いお宮です。相模国一之宮として源頼朝、北条氏綱、徳川家康ら時の為政者たちからも篤く信仰されていました。八方除、方位除として全国的に有名で、初詣、初宮参り、一般参拝など多くの人たちが訪れています。

### 5 旧目久尻川ふるさと緑道



町の鳥ダイサギをはじめ、サギ類の生息地として貴重な森に沿ってつくられた静かな緑道です。

### 4 更地碑



現在の青少年広場はかつて「フカンボ」と言われた深い沼地の田圃で、平均の1/3~1/4しか収穫できませんでした。昭和5~6年にかけて県下初の暗渠排水工事が行われました。その工事完了を記念して昭和7年に建碑されました。

### 3 越の山



寒川町岡田地域から大蔵地域にまたがる南北約1kmに及ぶ山林で、昭和49年に県の自然環境保全条例にもとづく自然環境保全地域に指定されました。古墳時代には越の山横穴墓群が形成されたり、近年では昭和19年頃に相模海軍工廠の防空壕が建設されたりしました。

### 2 安楽寺



町内最古の真言宗寺院で、中世以前は寒川神社の別当だったと伝えられています。江戸時代には十数の末寺がありました。本尊の大日如来坐像は平安時代の作で、昭和61年に町重要文化財に指定されています。

### 1 大(応)神塚



明治41年(1908)に発掘された全長約50m、後円部高さ約5mの前方後円墳で、5世紀前半頃の構造と考えられています。平成9年に町重要文化財に指定されています。